

20. 肺癌の FDG 集積と PCNA 陽性率との関連性

元村有紀子	綾部浩一郎	東 光太郎
大口 学	王 曉明	西川 高広
谷口 充	利波 久雄	山本 達
		(金沢医大・放)
上田 善道		(同・病理)
南部 静洋		(同・呼吸器)
豊田 恒良		(同・胸外)
関 宏恭		(金沢循環器病院・放)

術前に FDG-PET を施行した非小細胞肺癌手術症例

23 例を対象として、肺癌の FDG 集積と肺癌術後病理組織の PCNA (proliferating cell nuclear antigen) 陽性率との関連性について検討した。FDG-PET は FDG 111-148 MBq 静注 40 分後より撮像した。FDG 集積の指標として、SUV を用いた。その結果、肺癌の FDG 集積と PCNA 陽性率との間には有意な正の相関関係が認められた。すなわち、PCNA 陽性率が高く増殖細胞の割合が多い肺癌ほど FDG 集積が強い傾向が認められた。また細気管支細胞癌は、他の腺癌よりも PCNA 陽性率が低く PDG 集積も弱い傾向が認められた。これらのことより、肺癌の FDG 集積と増殖細胞の割合および分化度との関連性が示唆された。